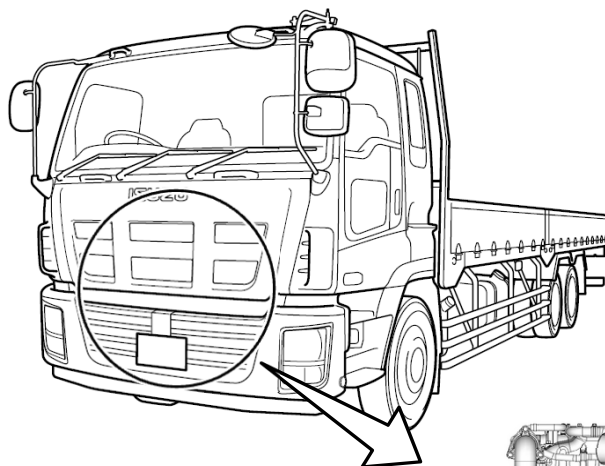
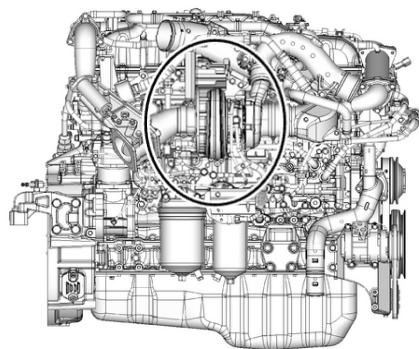
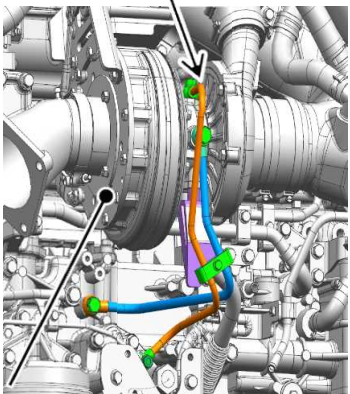
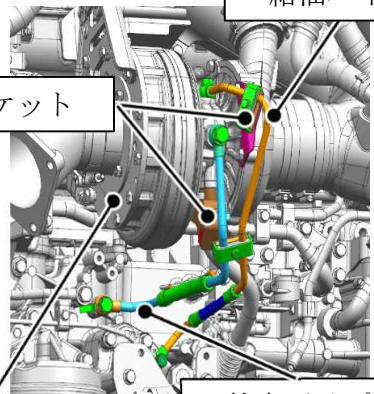


改善箇所説明図



エンジン右側全体図



改善前	改善後
<p>基準不適合発生箇所</p>  <p>ターボチャージャ</p>	 <p>給油パイプ</p> <p>ブラケット</p> <p>ターボチャージャ</p> <p>給水パイプ</p>

大型トラック用エンジンにおいて、ターボチャージャのタービンインペラの二次共振時の最大応力部に微小空孔が存在した場合に、微小空孔を起点とした疲労破壊によりタービンインペラが破損して異音、白煙排出、出力不足等が発生し、エンジン警告灯が点灯することがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、ターボチャージャに異常振動が発生し、ターボチャージャ給油パイプが疲労により亀裂してオイルが漏れ、高温部に付着して火災に至るおそれがある。

改善の内容；

全車両、給油パイプ、給水パイプおよびパイプ固定用ブラケットを対策品に交換する。なお、上記原因によりタービンインペラが破損した場合には、ターボチャージャを無償で交換する。

識別：助手席側ドア開口部のシリアルナンバープレート左上に、識別シール（桃色）を貼付する。

注： は、措置する部品を示す。